

# 第 1 章 第 2 次健康びぜん 21・備前市食育推進計画について

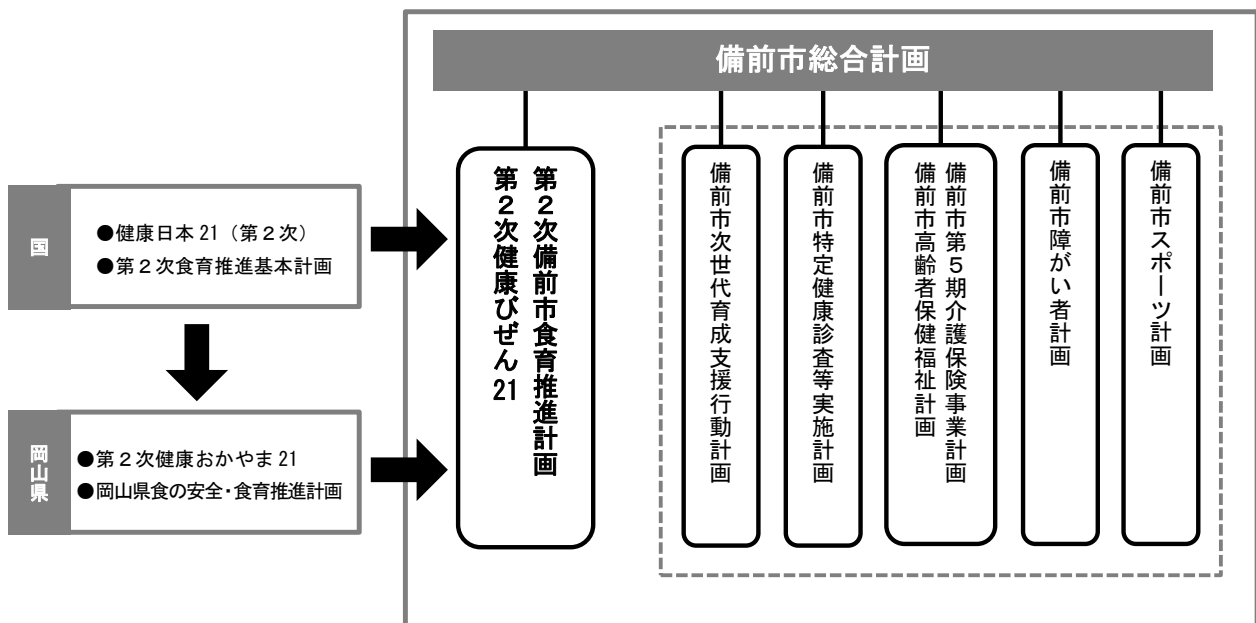
## 1. 策定の趣旨

市では、「健康びぜん 21」（平成 16 年 4 月～平成 26 年 3 月）・「備前市食育推進計画」（平成 21 年 4 月～平成 26 年 3 月）に沿って、市民の健康づくりや食育に対する施策に取り組んできました。これらの計画の最終評価を行い、市民生活の現状把握や評価から得られた課題を基に、新たに健康づくり・食育への施策となる「第 2 次健康びぜん 21・備前市食育推進計画」を策定します。

少子高齢化や社会経済の変化が進む中で、子どもから高齢者まですべての人がともに支え合いながら、健やかで心豊かに生活できる地域社会の実現に向けて、新たな計画を推進していきます。

## 2. 計画の位置づけ

この計画は、健康増進法（平成 14 年法律第 103 号）第 8 条の規定による「市町村健康増進計画」および食育基本法（平成 17 年法律第 63 号）第 18 条の規定による「市町村食育推進計画」と位置づけ、国の「21 世紀における国民健康づくり運動（健康日本 21（第 2 次）」および「第 2 次食育推進基本計画」と、岡山県の健康増進計画「第 2 次健康おかやま 21」および「岡山県食の安全・食育推進計画」に基づき市の実状に即して策定をします。また、市の上位計画である「備前市総合計画」や市の他の計画と整合性を図り策定します。



### 3. 計画の期間

この計画の期間は平成 26 年度から平成 35 年度の 10 年間とします。平成 30 年度には中間評価を行い、目標の進捗状況の確認や取組の見直しが必要であるかなどを検討します。計画の最終年度である平成 35 年度には最終評価を行い、目標を達成するための取組の成果を評価し、その後の第 3 次計画に反映をしていきます。



### 4. 基本理念

市では、備前市総合計画の理念である“「備前らしさ」のあふれるまち”に基づき、「誰もがいつまでも安心して暮らせるまち」の将来像に向け、生涯を通じた健康づくりの推進に取り組んでいます。

第 2 次健康びぜん 21・備前市食育推進計画では、「いつまでも生き生きと自分らしく毎日を過ごしたい」という市民の願いを実現し、子どもから高齢者まであらゆる世代の市民が心身ともに健康に暮らしていけるよう、この計画の基本理念を「市民が主役の健康づくり」「健康を支え合う地域づくり・健康を支える環境づくり」とし、各取組を推進していきます。

## 5. 基本的な推進方向

---

基本理念である「市民が主役の健康づくり」「健康を支え合う地域づくり・健康を支える環境づくり」を目指すために、次の4項目を基本的な推進方向とします。

### (1) ライフステージに応じた健康づくりの推進

人生の年齢による各段階（ライフステージ）では、生活の状況や健康に関する問題が変わってきます。そのため、この計画では、次世代（0～19歳）・成人期（20～64歳）・高齢期（65歳以上）の3つのライフステージ毎に現状や課題をまとめ、各ライフステージに合った健康づくりを推進し、市民が生涯にわたり健やかで心豊かに生活できることを目指します。

### (2) 柱となる分野ごとの取組の推進

健康びぜん21では「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・こころの健康」「たばこ・飲酒」「歯と口の健康」「生活習慣病予防」、食育推進計画では「食を知る」「食をつくる」「食を楽しむ」を柱となる分野とし、取組を推進します。

### (3) 一次予防に重点を置いた健康づくりの推進

健康づくりには、病気の発生そのものを予防すること（一次予防）が重要です。生活習慣病の発症を予防するために、市民が主体的に食生活の改善や運動習慣の定着等、普段から健康的な生活を送る取組を推進します。

### (4) 関係団体の連携による環境整備とソーシャル・キャピタルの活用による地域づくりの推進

健康増進は個人の努力のみで実現できるものではありません。社会環境の整備も必要です。そのため、関係団体が協力・連携をし、個人の健康づくりを支援するための社会環境の整備を推進します。

また、地域の共助を促進し健康増進に結びつくよう、ソーシャル・キャピタルを活用した地域づくりを推進します。

※ソーシャル・キャピタルとは

社会関係資本。人々の協調活動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることができる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴を示すもの。

## 第2次健康びぜん21・備前市食育推進計画の体系図

### 第2次備前市総合計画

備前市のまちづくりの考え方

「備前らしさ」のあふれるまち

目指していく市の将来像

誰もがいつまでも安心して暮らせるまち

### 第2次健康びぜん21・備前市食育推進計画

いつまでも 生き生きと 自分らしく

～あなたが主役 みんなでひろげよう 健康づくりと食育の輪～

市民が主役の健康づくり

健康を支え合う地域づくり・健康を支える環境づくり

#### 第2次健康びぜん21

次世代の  
健康づくり

成人期の  
健康づくり

高齢期の  
健康づくり

栄養・食生活

身体活動・運動

休養・こころの健康

たばこ・飲酒

歯と口の健康

生活習慣病予防

#### 第2次備前市 食育推進計画

食を知る

食をつくる

食を楽しむ

地域づくり・環境整備

## 6. 推進体制

市民や地域、行政等がそれぞれの役割を果たすとともに、相互が協力し連携しながら、社会全体が一体となって、市民の健康づくり・食育を進めていきます。

### (1) 市民(個人・家庭)の役割

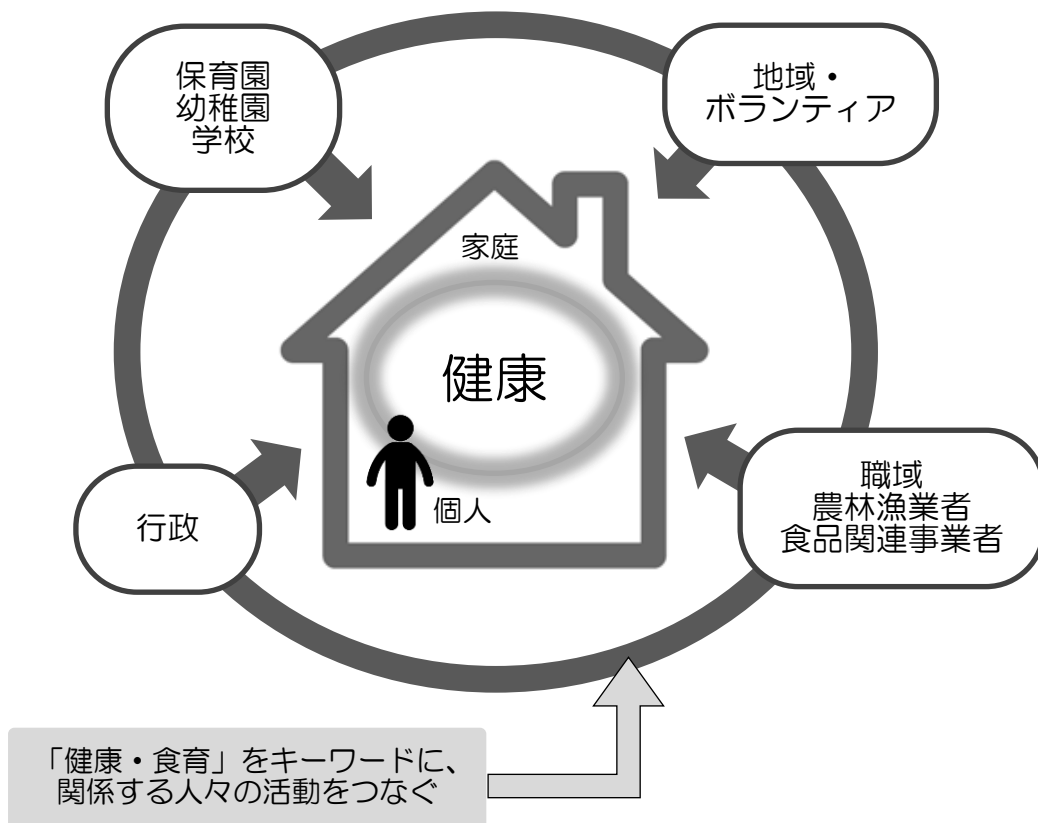
市民一人ひとりが主体的に健康づくりを行い、「自分の健康は自分でつくる」という意識を持つことを目指します。

### (2) 地域の役割

生活していくうえで「土壌」となる地域には、個人や家庭の主体的な健康づくり・食育の取組を支援する役割が求められます。地域・ボランティア、職域・農林漁業者・食品関連事業者等の関係機関・団体による連携した取組により、広く一人でも多くの人々が健康づくりを実践しやすい地域づくり・環境整備を目指します。

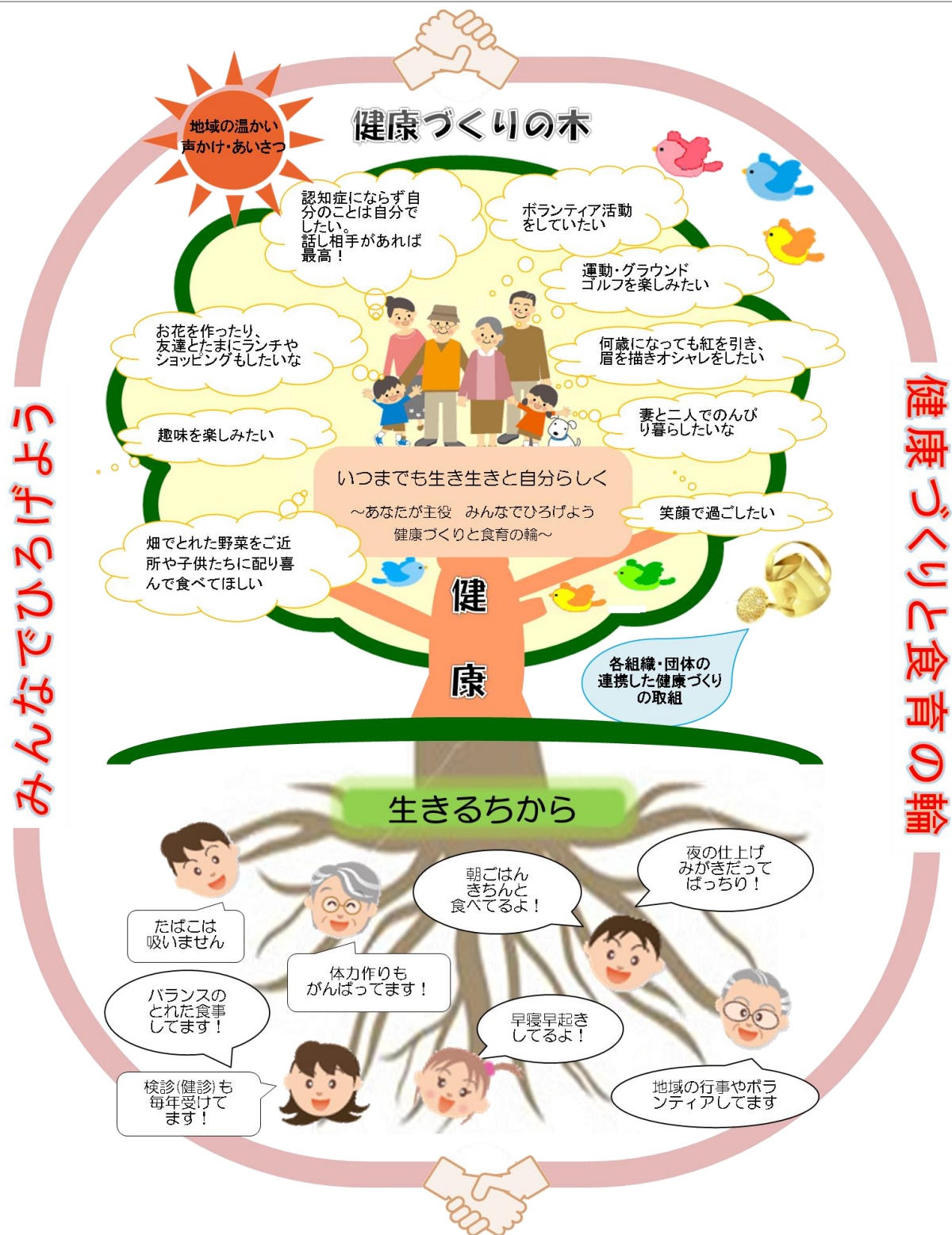
### (3) 行政の役割

市民や地域の主体的な健康づくりを支援するための、健康増進・食育推進の各施策を進めます。また、関係機関・団体等を「健康・食育」をキーワードとした視点でそれぞれの活動をつなげ、地域でのさらなる健康づくりと食育の輪を広げていきます。



## 備前市の健康づくり・食育推進のイメージ図

「個人・家庭の健康づくり、食育の取組」に、「地域の温かい声かけ・あいさつ」や「各組織・団体の連携した取組」が加わることで、きめこまやかな健康づくりが推進されます。その結果“生きるちから”をはぐくみ、生涯にわたる健康づくりが推進され、市民が“いつまでも生き生きと自分らしく”生活することにつながります。さらに、家庭、学校、職場などで、多様な年齢層による支え合いやつながりをひろげることで地域力が高まります。



地域がつながり 地域みんなで支える健康づくり



## 7. 計画の策定方法

---

平成 16 年から推進し、平成 20 年に中間評価を行った健康びぜん 21、平成 21 年から推進してきた備前市食育推進計画の最終評価および第 2 次健康びぜん 21・備前市食育推進計画の策定における基礎調査とするために、「健康づくりに関するアンケート調査」を実施しました。このアンケート調査と、市の健診や健康づくりに関する各種調査に基づき、備前市健康づくり推進協議会において計画内容の検討をし、その後パブリックコメントを実施して計画を策定しました。

### (1)健康づくりに関するアンケート調査の概要

- 調査対象者：備前市内在住の 20 歳から 79 歳の市民 1,000 人
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査期間：平成 25 年 5 月 7 日～平成 25 年 5 月 31 日
- 有効回収件数（率）：570 件（57%）

### (2)備前市健康づくり推進協議会 開催経過

日時	内容
平成 25 年 8 月 2 日	最終評価報告、意見交換
平成 25 年 10 月 17 日	計画骨子案説明、審議
平成 25 年 12 月 12 日	素案説明、審議
平成 26 年 2 月 20 日	原案、ダイジェスト版の審議、承認

### (3)パブリックコメントの実施

期間：平成 26 年 1 月 10 日～平成 26 年 2 月 10 日

意見数：11 件